

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)  
 A:十分達成できている  
 B:おおむね達成できている  
 C:やや不十分である  
 D:不十分である

学校名 神崎市立千代田中学校

1 前年度 評価結果の概要 保護者アンケート結果からは本校の教育活動について、おおむね肯定的な評価をいただいた。学力向上に向けた取組は県学習状況調査等の結果に結びついていないところがあった。今後、全職員一丸となって、生徒がより意欲をもって学習し、学習したことを家庭学習につなげられるような取組を行っていく。また、学校、家庭、地域の連携について、本校の教育目標、重点項目について周知徹底を図り、それぞれの役割分担を明確にし、家庭、地域の活力を活かすことで業務改善を図っていく。

2 学校教育目標 夢と誇りを持ち 自ら学び行動できる 心身ともに調和のとれた生徒の育成  
 ~ Chance Challenge Change ~

- 3 本年度の重点目標
- 1 確かな学力の育成 ~活躍の場と論議の場を与え、自ら学ぶ意欲を育てる学習指導~
  - 2 豊かな心の育成 ~出番・役割・承認による「生徒理解」に基づくチームでの生徒指導~
  - 3 健やかな体の育成 ~健康安全の確保に取り組む態度の育成~
  - 4 自主・自立・自律の推進 ~活力のある生徒会活動の醸成~
  - 5 学校・家庭・地域との連携 ~学校で学び、家庭でしつけ、地域で育てる協育の構築~
  - 6 教職員の働き方改革~教職員が安心し、生きがいをもって業務遂行できる環境づくり~

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。						
	○活躍の場と論議の場を与え、自ら学ぶ意欲を育てる学習指導 □	○学習に関するアンケートの「授業の目標は示されている」で90%以上、「授業はよくわかる」で90%以上。	・課題解決的な授業を展開するための「めあて」の設定と次時につながる「まとめ」の工夫。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒75%以上	・学校行事を核にして体験を生かした道徳の授業や「神崎市4か条の誓い」を具現化した授業を行う。 ・道徳の授業や「ふれあい道徳」などを通して、生徒が規範意識や人としてのあり方を高めていると実感し、授業や学校行事等で実践として生かせるように、集会や講話の持ち方も工夫していく。						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員85%以上	・いじめアンケート調査や月ごとの生活アンケート調査を行い、実態の把握に努め、早期対応をする。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。 ・生徒指導部会、生徒指導協議会等を通して職員間で生徒に関する情報を密に共有する。また、学校での生徒の様子を家庭連絡等で保護者に伝えるだけでなく、アンケートの実施状況や学校で起きていることを積極的に学校外に伝え、可能な限り情報を共有していく。						
	○不登校生徒・問題行動への早期対応	○不登校・不登校傾向生徒の学校復帰100%を目指す。 ○連絡、報告、相談の迅速対応による問題行動への早期対応ができたと回答した教員85%以上	・不登校生徒の減少を目指し、教育相談部会の活性化、SSW、SC、生活支援員、関係機関等との連携を深める体制を築く。 ・連絡、報告、相談の迅速対応の生徒指導体制の確立を行う。						
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	○スマホ等を21時になったら保護者に預ける生徒90%以上 ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上 ●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・「早寝、早起き、朝ごはん」を推進するためにPTAと連携し、地区懇談会等で啓発活動を行う。 ・「弁当の日」を設け、食事づくりの技能と感謝の心を育てる。 ・生徒会給食委員による給食の時間の呼びかけを行う。 ・生徒集会等を利用して啓発活動を行うとともに学期はじめに登校立ち番指導を行う。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定 ・業務の効率化に向けた役割分担の徹底を図る。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	重点取組内容	成果指標(数値目標)							
○自主・自立・自律の推進	○活力のある生徒会活動の醸成	○「すみそよあじ(スリッパ並べ・身だしなみ・無言掃除・四か条の誓い・いじめ防止・挨拶・時間)」を実践した生徒の割合100%	・「すみそよあじ」と「かせち条約(礼儀作法、文武両道、思いやり、環境保護、規則遵守、健康管理)」を合言葉に各委員会の生徒会活動を充実させる。						
○学校・家庭・地域との連携	○学校で学び、家庭でしつけ、地域で育てる協育の構築	土曜開校等授業参観における保護者参加の割合65%以上	・地域行事やPTA活動への積極的な参加 ・保護者や地域住民が参加しやすい学校行事等の設定 ・地域や関係機関との連携強化 ・総合的な学習の時間を生かした地域を誇れる学校づくり						
○志を高める教育	◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒(中学3年生・義務教育学校9年生)90%以上	・全ての教育活動を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望